

京都府国土利用計画・土地利用基本計画（素案）に対する府内市町村からの意見取りまとめ

部局	素案該当箇所	市町村意見等	修文 上段：市町村案 下段：対応案	対応
綾部市①	●P28-29 特に市街地においては、道路緑化の推進等により、良好な沿道環境の保全・創造に努める。	道路の緑化の重要性は一定理解しているところであるが、近年では成長した街路樹が交通の妨げになったり、維持管理の負担などが問題になってきているところであり、特に周囲を緑に囲まれた北部の市街地では、必ずしも道路緑化が必要とは言えないところがある。	特に市街地においては、 地域の状況に応じて 道路緑化の推進など、良好な沿道環境の保全・創造に努める。 →周囲の緑の多寡にかかわらず、道路緑化は歩道等に緑陰をつくるためや、遮光、交通分離等円滑な道路交通の確保のため整備が進められているので、記載しないものとする。	◇反映せず
綾部市②	●P29 住宅地の整備に際しては、世帯数が計画期間中に減少に転じると見込まれるため、土地利用の高度化、低未利用土地の活用、空き家の活用・除却を推進し、農地や森林等からの転換は抑制しつつ、必要な用地を確保する。	既成市街地内の空家空き地の活用を進める一方で、市街地周辺の一定の農地等は宅地への利用転換によって一定の宅地を確保、人口を市街地に集積していく方針を持っている。可能であれば「地域事情に応じて」という表現を加えていただきたい。	農地や森林等からの転換は 地域の状況を踏まえて抑制を図りながら 、必要な用地を確保する。 →市町村要望どおりに修正	◇意見を踏まえ修正
綾部市③	●P33 道路については、公共・公益施設の共同溝への収容や無電柱化、既存道路空間の再配分等により、道路空間の有効利用を図るとともに、道路緑化等の推進による良好な道路景観の形成を図る。	同上	道路については、公共・公益施設の共同溝への収容や無電柱化、既存道路空間の再配分等により、道路空間の有効利用を図るとともに、 地域の状況に応じて 道路緑化等の推進による良好な道路景観の形成を図る。 →周囲の緑の多寡にかかわらず、道路緑化は歩道等に緑陰をつくるためや、遮光、交通分離等円滑な道路交通の確保のため整備が進められているので、記載しないものとする。	◇反映せず
綾部市④	●P33 特に、人口減少下にもかかわらず農地や森林等から宅地等への転換が依然として続いている一方、都市の低未利用土地や空き家等が増加していることにかんがみ、これらの有効活用等を通じて、農地や森林等からの転換を抑制する。	同上	これらの有効活用等を通じて、農地や森林等からの転換を 出来るだけ 抑制する。 →特に、人口減少下にもかかわらず農地や森林等から宅地等への転換が依然として続いている一方、都市の低未利用土地や空き家等が増加していることにかんがみ、 地域の实情に応じ 、これらの有効活用等を通じて、農地や森林等からの転換を抑制する。	◇意見を踏まえ修正
向日市①	●P25-26 乙訓地域(向日市・長岡京市・大山崎町)では、文化・芸術の力を生かし、アートとテクノロジーを融合させた新たな産業を創造し、起業を促すとともに、次世代を担う起業家や企業の中核を担う人材育成を進めるアート&テクノロジー・ヴィレッジ京都の推進を図る。	京都府において、令和10年度を目標に京都アリーナ(仮称)の整備を計画されており、地域の交流や賑わいの拠点として、本市に大きな経済効果を波及させるものであることから、防災や地域活性化の面で京都府の土地利用の基本方針に合致すると考えたため。	乙訓地域(向日市・長岡京市・大山崎町)では、 向日町競輪場用地を活用して、レジャーや憩いの場、スポーツ活動の促進や地域防災の拠点等の機能を併せ持った屋内スポーツ施設(アリーナ)の整備を目指す。 →乙訓地域では、向日町競輪場用地の再整備に伴い、 レジャーや憩いの場、スポーツ活動の促進や地域防災の拠点等の機能を併せ持った屋内スポーツ施設の整備を進めるとともに、文化・芸術の力を生かし、アートとテクノロジーを融合させた新たな産業を創造し、起業を促すとともに、次世代を担う起業家や企業の中核を担う人材育成を進めるアート&テクノロジー・ヴィレッジ京都の推進を図る。	◇意見を踏まえ修正
向日市②	●P26 また、幹線道路等の都市基盤の整備や地域と連携した環境にやさしいまちづくりを進めるとともに、京都市内観光との連携強化に取り組む。	本市では、市の最上位計画「ふるさと向日市創生計画」に、“土地利用の転換による事業所の誘致事業の推進”を位置づけ、現在、地権者等の意向を踏まえながら、営農環境の保全・向上に資する農地集約と新たな産業集積に資する土地利用の転換を、市街化調整区域における地区計画制度により実施する取組を推進しているため。	幹線道路等の都市基盤の整備や、 産業の集積に資する計画的な土地利用の推進及び 、地域と連携した環境にやさしいまちづくりを進めるとともに、京都市内観光との連携強化に取り組む。 →市町村要望どおりに修正	◇意見を踏まえ修正